




【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-1-2
事業名 市営住宅解体事業（葉ノ木平）
事業費 総額：18,832千円（国費：15,065千円） （内訳：補償費 2,637千円、工事費 16,195千円）
事業期間 平成25年度
事業目的・事業地区 白河市葉ノ木平地区は東日本大震災による地すべりにより、死者13名、滅失住宅13戸の被害が生じた地区である。 さらに、地区内にあった葉ノ木平市営住宅においても著しい被害が生じるなど、被害は地区全体に及んだ。 市内で最も被害が甚大であった同地区の復興を推進するためには、被災者に対し安心・安全な生活の場を提供し、地域コミュニティを維持・継続できる環境整備を図ることが重要である。そのため、本地区に災害公営住宅を整備し、被災者の生活再建を支援することから、被災した葉ノ木平市営住宅を解体整備する。
事業結果 葉ノ木平市営住宅の解体を行った。 【整備概要】 解体戸数：25戸、解体棟数：14棟、延床面積：1,102㎡


解体前

解体後

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

平成 27 年 3 月に建設工事等が完了し、平成 27 年 5 月より災害公営住宅の入居が開始された。現在においても、政策的空き住戸を除いた全戸が入居状態にあるため、本事業の目的を達したと考えられる。

・入居戸数：16 戸のうち 14 戸（令和 2 年 12 月 31 日時点）

空き住戸の 2 戸については、入居の応募がなかったため、政策的空き住戸として活用している。

※政策的空き住戸：不測の事態や住替えなどに対応すべく、入居募集を行っていない住戸。

・入居者数：23 名（令和 2 年 12 月 31 日時点）

② コストに関する調査・分析・評価

敷地内における伐採樹木の放射線量が高く処分できなかったため、それらをフレコンパックに詰め、一時的に埋設保管をした。（伐採樹木については、保管後、仮置き場へ移設した。）

このことに伴い当初より工事費の増額が必要となったが、県が定める基準をもとに積算し工事を実施したため、当該事業費は妥当なものと考えられる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 25 年 4 月から 8 月にかけて解体工事を行った。遅滞なく工事が進められたことから、事業手法は妥当なものと考えられる。

事業担当部局

白河市建設部建築住宅課

電話番号：0248-22-1111